

(別添1)

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
バイオ技術グループ

ご利用にあたっての注意事項

0. 倫理性の保持および安全性の確保について

- 人及び生物由来試料等を対象とする実験を実施する際には、研究対象者（物）及び研究実施内容を倫理的な問題から保護する必要があります。都産技研も、この倫理性の保持を重視しており、都産技研の機器を利用されるお客様にも同様の対応をお願いしております。
- 倫理性の保持については、例えば研究対象者（物）に対するインフォームドコンセントの手続きや、個人情報等の保護や、動物実験代替試験法（3R）の検討といったものが考えられます。依頼試験および機器のご利用については、これら倫理的な責任の解決主体がお客様にあることをご承諾頂いた上で実施するものとします。
- 倫理性の保持の具体的な手法などについては、一般社団法人日本人間工学会が発行する「人を対象とする人間工学研究の倫理指針」、関係する省庁が発行する「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」、「カルタヘナ法関係法令」などの文書をご参照下さい。
- 機器利用において、上記倫理性の保持及び安全性の確保についてはお客様の責任において実施するものとします。
- ヘルスケア産業支援事業において提供される各技術サービスのご利用には、以下の各項目に合意していただくことが必要となります。

1. 共通項目

- 技術支援事業ご利用約款に記述する「技術相談実施要綱」、「依頼試験実施要綱」、「機器利用実施要綱」を守って安全にご利用ください。他のお客様や職員への迷惑行為は禁止いたします。
- 都産技研の責めに帰すべき事由により生じたことが明らかな場合を除き、お客様及び第三者のけが等の事故及び損失については、都産技研は一切責任を負わないものとします【技術支援事業ご利用約款 第1章 第21条】。
- お客様による都産技研敷地内及び館内での撮影及び録音は、禁止の掲示の有無にかかわらず禁止します【技術支援事業ご利用約款 第1章 第28条】。
- 実験室内には複数のお客様が同時にご利用されます。ご利用中のデータやサンプル、手荷物の管理は各自の責任で管理願います。

(次葉へ続く)

- 各機器のご使用に当たっては、担当職員の指示に従い、使用方法を守ってご使用下さい。ルールを逸脱して備品や消耗品を破損した場合、損害賠償請求させて頂くことがありますのでご了承下さい。
- 実験室内の装置・備品の都産技研外部への一切の持ち出しは禁止とします。
- 実験スペースでの飲食・喫煙はご遠慮ください。
- 実験室の使用中に体調不良の訴えがある場合、お客様の責任で医療機関などの受診をお願いしております（弊所では医療機関との提携はありません。）。
- 得られた試験結果について、当センターの名称を広告、印刷物、電子文書等に無断で使用することはお断りしています。
- 利用にあたって発生したゴミ等はお持ち帰りください。
- 機器に異常が発生した場合には、直ちに職員までお申し出ください。
- ご利用後は機器を清掃、使用前の状態に戻していただき、職員までご連絡ください。

2. サンプルについて

- 実験中ならびに輸送時の試験体（品）の変質、破損等に関して、弊所では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 実験で使用するサンプルは、実施する実験に関わる倫理性保持の重要性を理解し、お持ち込みください。
- 生体および生体由来サンプル（動物細胞組織原料等及び細菌、真菌、ウイルスなど）については、安全性が担保されていないもの、感染性・病原性のもの、体液（血液、唾液、粘液等）の測定をお断りします。
- 状態によっては、弊所指定の方法による不活性化処理や化学固定処理をお願いする場合があります。
- 実験室内でのヒトや動物からの生体組織の採取は固く禁じます。
- 使用後のサンプル等につきましては、原則、当日のお持ち帰りをお願いしております。
- サンプルの実験室内外への持ち込みおよび持ち出しにあたっては、漏洩防止にご配慮ください。
- 生きた動物（安全性が担保されている動物組織は除く）の実験室への持ち込みは禁止します。

3. ヒトを使った実験について

- 実施する実験に関わる倫理性保持の重要性を理解し、研究対象者に対するインフォームドコンセントや人権保護、個人情報の保護など各種倫理的な問題を解決した上で機器を利用してください。
- 測定機器の中には、レーザー光源などを使用したものがあります。使用方法を守って眼に直接光源が入らないようご注意ください。

（次葉へ続く）

- 人体を測定対象とする一部のモニター試験においては、体表にクリームや軟膏を塗布する必要のある場合があります。皮膚のかぶれや炎症などが生じた場合、弊所では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。特に、感染症や、皮膚疾患などをお持ちの方のご利用はお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください。
- 人体を測定対象とする一部のモニター試験の使用時、体調不良となった場合には、速やかに使用を中止して頂くことがあります。